

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスSOALA三国が丘校		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		2025年 1月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日		2025年 1月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども達が通所を楽しみにし、保護者にも安心感を持ってもらっている点です。	固定されたプログラムでなく、様々な種類の体験、活動が出来るように支援を考えて実践している。 出来る限り、本物の体験ができるように地域の施設などを積極的に使っています。また、保護者の方への報告、連絡、相談対応に関しては迅速に行うことを心がけています。	地域の方々との結びつきを強化し、農業体験などさらに多くの本物の体験ができるよう活動の幅を広げていきます。
2	安全で清潔な環境を保ち、子ども達が過ごしやすい環境を作っている点です。	毎日の清掃、こまめな消毒を心がけ、清潔に保つよう心掛けています。 安全のため、子ども達が入れる部屋を制限し、それぞれの部屋もイラストを掲示し、視覚的に部屋の目的を明確にして子ども達が理解しやすいようにしています。	部屋数が多いのが特徴である為、それぞれの部屋も安全で整理整頓され、時間や曜日も理解しやすいような工夫を施すなど、居心地の良い部屋となるよう見直し整えています。
3	保護者の方々に支援内容の報告やお子様の様子をお伝えしたり、保護者の方同士で交流する機会となる「そあらのひろば」を実施しています。	「そあらのひろば」になかなか参加できない方もいる為、事業所での活動の様子をまとめた新聞を作り、お渡ししております。また、子育てに関する相談ができる場にもなっています。	ペアレントトレーニングの場にもなっていると保護者の方に認識してもらえるような枠組みを作り、実施していきます。進学などライフステージの変化にも対応した情報を発信し、家庭でもできる声掛けの仕方など役に立つようなスキル習得のための時間になるようにもしていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	障がいのない児童との交流の機会はあるが、まだ少ない点です。	地域に開かれた施設を使って(例えば地域のコミュニティセンターなど)の活動などがあまり用意できていないことです。	地域の児童館や学童など地域に開かれた施設や地域で生活をしている方との繋がりを強化し、合同での活動を企画するなど活動の幅を広げていく必要があります。
2			
3			